週刊 愛知民報

2021年
3月28日
第2531号

発行所 愛知民報社
〒460-0007　名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052) 251-2925　FAX(052) 261-6063
定価　月　400円　郵送料168円　1部　100円
毎週日曜日発行（第5日曜日は休刊）
1966年7月31日第三種郵便物認可

## 県内の新型コロナ感染者数

| 市町村名 | 感染者数 |
|---|---|
| 名古屋市 | 12,294 |
| 豊橋市 | 1096 |
| 岡崎市 | 961 |
| 一宮市 | 1067 |
| 瀬戸市 | 371 |
| 半田市 | 350 |
| 春日井市 | 985 |
| 豊川市 | 403 |
| 津島市 | 174 |
| 碧南市 | 175 |
| 刈谷市 | 377 |
| 豊田市 | 1,272 |
| 安城市 | 362 |
| 西尾市 | 391 |
| 蒲郡市 | 201 |
| 犬山市 | 153 |
| 常滑市 | 95 |
| 江南市 | 284 |
| 小牧市 | 539 |
| 稲沢市 | 315 |
| 新城市 | 67 |
| 東海市 | 336 |
| 大府市 | 211 |
| 知多市 | 234 |
| 知立市 | 222 |
| 尾張旭市 | 253 |
| 高浜市 | 102 |
| 岩倉市 | 143 |
| 豊明市 | 154 |
| 日進市 | 294 |
| 田原市 | 70 |
| 愛西市 | 201 |
| 清須市 | 218 |
| 北名古屋市 | 276 |
| 弥富市 | 173 |
| みよし市 | 154 |
| あま市 | 362 |
| 長久手市 | 159 |

| 市町村名 | 感染者数 |
|---|---|
| 東郷町 | 111 |
| 豊山町 | 59 |
| 大口町 | 72 |
| 扶桑町 | 102 |
| 大治町 | 122 |
| 蟹江町 | 181 |
| 飛島村 | 19 |
| 阿久比町 | 41 |
| 東浦町 | 99 |
| 南知多町 | 32 |
| 美浜町 | 40 |
| 武豊町 | 92 |
| 幸田町 | 121 |
| 設楽町 | 4 |
| 東栄町 | 3 |
| 豊根村 | 1 |
| 尾張地方 | 12 |
| 三河地方 | 5 |
| 県外 | 155 |
| 合計 | 26,765 |

（3月22日現在。県の発表に基づく。尾張地方、三河地方は、県が自治体名を明らかにしなかった2020年3月上旬までの分）

## 新型コロナウイルス

# 大規模検査で感染封じ込めを

日本共産党愛知県副委員長
同党県新型コロナウイルス対策本部長（衆院愛知7区候補）

## すやま初美さんに聞く

新型コロナウイルス対策として首都圏4都県に発令されていた緊急事態宣言は、21日の期限で解除されました。愛知県は、国が2月28日に同宣言を解除した後発令していた、独自の厳重警戒宣言を21日に解除しました。宣言解除でリバウンド（感染再拡大）の危険が指摘されています。同党の、すやま初美愛知県副委員長・党県新型コロナウイルス対策本部長に愛知の状況を聞きました

### 第4波来させない

日本共産党の志位和夫委員長は12日、大規模検査を求める政府あての緊急要請書を提出しました。緊急要請の骨子は①高齢者等施設の社会的検査を医療機関等にも広げる②モニタリング検査を1日10万の規模でおこなう③変異株の疑いを確認する検査の割合を引き上げるの3つです。

衆院愛知7区の予定候補として有権者の話を聞いていますが、どこでも言われるのは、「第4波を来させずに終息させて」という声です。「オリンピックは無理だろう」という声も聞いています。

### 社会的検査

愛知県は名古屋市、中核市と協調して高齢者施設等で働く職員に対するスクリーニング検査を始めました。

「職員の感染が多数確認されてサービス提供に支障が生じる場合はどうするのか」と聞くと、県の答えは「施設からの要請に応じて、県が社会福祉協議会と連携し、他施設から派遣をおこなう」といいうものでした。引きつづき対象拡大と頻回の検査を求めます。

### モニタリング

6日から名古屋市内でコロナ再拡大を早急に察知するための調査が始まりました。栄で100セット、金山で200セットの無料PCR検査キットが配布されました。

厚生労働省は1日1万件のモニタリング検査の一部を国と自治体で共同しておこなっています。しかし、13都府県で割ると1県で1日800人。現在の陽性率で見ると1万人検査して発見できる陽性者は5～10人です。800人の検査ではモニタリングにはなりません。

### 変異株対応を

大村知事は22日の会見で、県内のこれまでのコロナウイルスの感染者のうち、変異株の感染者が8人いることを明らかにしました。

変異株は、「どこで起きているのか追跡して、感染源を突き止め徹底的にたたく」ことが重要です。

### 医療現場支援を

医療現場が疲弊しています。愛知県医労連が組合員1500人から集めた「看護師コロナ緊急アンケート」（11日発表）には、「離職希望が7割」「賃金・労働条件が改善されなければ続けられない」という声が多数でした。国に対し支援を求める世論を広げていきます。

## 東栄町 透析復活・入院病床継続を

### 共産党 浅尾議員「医療は崩壊状態」と告発

北設楽郡東栄町議会は17日、「東栄町人工透析・入院を守る会」の直接請求署名にもとづく条例改正案を否決しました。議長を除く採択は、反対5、賛成は日本共産党の浅尾もとこ議員と無所属の山元典式議員の2人。

同条例改正案は、東栄医療センターで昨年3月廃止した人工透析の再開と入院病床の存続を求めるものです。

直接請求代表者の西谷賢治氏は議会採決に先立ち「救急診療中止、次いで人工透析が廃止され、入院までなくなろうとしている。村上町長は、医療過疎とたたかってほしい」と陳述しました。

同町議会9日の一般質問で、日本共産党の浅尾議員は、入院・透析・救急、介護の充実を求めて町の姿勢を厳しく追及しました。

浅尾氏は、90代の父親を介護する町民の声を紹介。「転倒して大腿骨にヒビ。東栄医療センターに電話したところ、『救急車で来て』と言われて直行した。ところが『うちではダメ』と言われ新城市民病院へ転送。さらに手術のために豊橋市民病院へと転送された。術後のリハビリのために新城市民病院へ入院。今後町内の介護施設に入所する予定」と述べ、町の高齢者が町外で入院したら自宅に戻ってこられない現実を「町内の医療は崩壊状態」と告発しました。

◆

旧東栄病院（現医療センター）は、奥三河の医療拠点でした。ところが町は19年に救急医療を中止、翌年に人工透析を廃止。さらに無床診療所化を計画。「病院を守ってほしい」の声が高まりました。

「ここで共産党が声をあげなくては」と、日本共産党の浅尾氏が立候補し当選。12年ぶりに同党議席を回復。

浅尾議員は19年11月、県に病院存続への支援を申入れ。同議員は「県や国がへき地医療に責任を果たせば病院を守ることはできる」と訴えました。県は同年4月東栄病院のへき地医療拠点病院指定を取り消しました。

人工透析の患者らは19年12月に、透析継続を求める署名5047人分を町に提出。現在の署名総数は8281人分となっています。

◆

翌20年1月、日本共産党の、もとむら伸子議員は衆院総務委員会で、東栄医療センターへの国支援を要求。活用可能な5つの財源を認めさせ、財政的展望を示しました。町はこの財源の一部を活用開始しましたが、透析と入院廃止に固執。

町民は「東栄町人工透析・入院を守る会」を結成。同会が20年12月に開始した直接請求署名は、成立に必要な署名人数である有権者の50分の1（55人）を大きく上回る1076人分でした。町選管は977人分を有効とし、町民への開示縦覧手続きに供しました。

縦覧期間に町長は後援会名で「署名偽造は懲役」とするビラを全戸配布。町民を恫喝して署名取消を促すという暴挙に出ました。

会の西谷氏は、町長リコール（解職請求）に向けて活動すると表明しています。